

木村秀海教授 略歴と業績

学歴

- 一九七四年三月 関西学院大学文学部史学科（東洋史学専修）卒業
- 一九七六年三月 関西学院大学大学院文学研究科修士課程日本史学専攻修了
- 一九八一年三月 関西学院大学大学院文学研究科博士課程日本史学専攻単位取得退学
- 一九八一年四月 関西学院大学大学院文学研究科大学院研究員（一九八三年四月まで）

職歴

- 一九八三年四月 関西学院大学文学部非常勤講師（一九九一年三月まで）
- 一九八六年四月 親和女子大学文学部非常勤講師（一九九一年三月まで）
- 一九八八年一〇月 神戸女学院大学非常勤講師（一九九三年三月まで）
- 一九九一年四月 関西学院大学文学部助教授
- 一九九七年三月 関西学院大学文学部教授
- 一九九九年四月 関西学院大学大学院文学研究科博士課程前期指導教員
- 二〇〇〇年四月 関西学院大学大学院文学研究科博士課程後期指導教員

学会活動等

東方学会、史学会、東洋史研究会、史学研究会、日本中国考古学会、阪神中哲談話会会員

研究業績一覧

論文

- 「西周金文に見える小子について―西周支配機構の一面」『史林』六四卷六号、一九八一年一月。
- 「陝西省扶風県強家村出土の西周青銅器銘文新釈」『人文論究』三一巻四号、一九八二年三月。
- 「六白の官構成について―盩方尊銘文を中心にして」『東方学』六九輯、一九八五年一月。
- 「西周官制の基本構造」『史学雑誌』九四編一号、一九八五年一月。
- 「西周後期の代訴記録―五年琿生毀銘・六年琿生毀銘」『泉屋博古館紀要』三号、一九八六年三月。
- 「邁顛」『史林』六九巻二号、一九八六年三月。
- 「西周官制的左右結構」『西周史論文集』下巻、陝西人民教育出版社、一九九三年六月。
- 「西周の官組織と官の汎称」関西学院大学東洋史学研究室編『アジアの文化と社会』法律文化社、一九九五年六月。
- 「西周官制における「師」」『東方学会創立五十周年記念東方学論集』、東方学会、一九九七年三月。
- 「周師」『関西学院史学』二五号、一九九八年三月。
- 「甲骨文・金文の小臣について」『人文論究』五三巻四号、二〇〇四年二月。
- 「池上四郎年譜」『郵政考古紀要』三五号、二〇〇四年一月。
- 「甲骨文・金文の小臣について…具体例検討」『人文論究』五五巻二号、二〇〇五年九月。

「石室秘稿 池上四郎家藏雜記―明治一〇年擾乱事実 上使応答記一冊『石室秘稿』」(共著)『郵政考古紀要』三九号、二〇〇六年一〇月。

「貯」と「服」―西周時代の貯積と貢納』『関西学院史学』三六号、二〇〇九年三月。

「柞伯鼎銘文の検討」『郵政考古紀要』五〇号、二〇一〇年一二月。

「西周時代の身分制」『関西学院史学』三九号、二〇一二年三月。

「衆人新解…衆人爲邑人説」『立命館白川靜記念東洋文字文化研究所紀要』六号、二〇一二年七月。

「珮生三器釋讀」『漢字學研究』一号、二〇一三年三月。

学会動向・書評

「東アジア…中国…殷・周・春秋」(一九八六年の歴史学界…回顧と展望)『史学雜誌』九六編五号、一九八七年五月。

「批評／紹介 楊寬著『西周史』」『東洋史研究』五九卷三号、二〇〇〇年一二月。

その他

「穆天子傳地名國族名諸説索引」(共著)『人文学論集(大阪府立大学人文学会)』二四、二〇〇六年。

木村秀海監修、堤保仁編『訳注 太平廣記 鬼部一―四』やまと崑崙企画、一九九八―二〇一〇年。